

## 4 現在まで続く「水道みち」

水質・水量を検討した結果、水源としたのが相模川の上流、津久井郡三井村（現在の相模原市緑区三井）です。この水源から横浜村の高台の野毛山浄水場（現在の野毛山配水池）まで、約44kmに及ぶ旧導水管上の道を「水道みち」といいます。

この水道創設水道導水路（水道みち）は、相模原市・大和市・町田市と横浜市が協定を結び、緑道として整備されています。道に沿って、水道施設の概要をわかりやすく説明した看板が26か所に設置され、歩きながら当時の様子に思いを馳せることができます。

「運搬手段がなかった水道創設当時、鉄管や資機材の運搬用としてレールを敷き、トロックを使用し水道を敷設しました。横浜市民への給水の一步と近代消防の一步を共に歩んだ道です。（看板より抜粋）」  
（横浜市水道局）

### 参考資料

- 『近代水道創設 横浜水道の歩み』 横浜市水道局総務課編 2012年 <K51.1/239 貸出不可>
- 『横浜水道百年の歩み』 横浜水道局編 1987年 <K51.1/15/100 貸出不可>
- 『よこはまの水 第53号』 横浜市水道局総務部編 1987年 <K51.1/60 貸出不可>
- 『近代水道百年の歩み』 日本水道新聞社 1987年 <K51/147 貸出不可>
- 『祖父パーマー 横浜・近代水道の創設者 有隣新書56』 樋口次郎著 有隣堂 1998年 <K28.1/453 貸出不可>
- 『日本史の謎は「地形」で解ける 文明・文化篇 PHP文庫』 竹村公太郎著 PHP研究所 2014年 <K20/93 貸出不可>
- 『アクアの肖像 横浜水道物語』 電通映画社 1987年 <KV51/アクア 貸出不可>